

東京外かく環状道路（関越道～湾岸線）の整備促進に関する決議

近年、東アジアの経済発展は著しく、シンガポールや香港、上海などの大都市にアジアにおける中枢拠点機能がシフトする中で、わが国の国際競争力の相対的地位の低下が危惧されている。とりわけ東京のビジネス環境においては、人流・物流の拠点となる環状道路や空港、港湾の整備の遅れ、企業や人材の招致に不可欠な金融センター機能やビジネス活動の拠点性の低下などもあり、東アジアでは唯一の世界都市である東京の存在をより一層高めるための対策が求められている。

加えて、本年は、観光立国推進基本計画の策定や観光庁の設置により、国際的な観光と産業経済の交流促進の観点から「迎え入れる国際化」についても東京が中心となって推進する必要がある。

このようなことから、首都圏全体の基幹道路ネットワークの整備は、首都東京の国際競争力を高め、首都圏全体の機能強化と魅力あふれる都市を創造するために必要不可欠であり、わが国全体の経済発展、活性化の観点においても喫緊の課題である。

東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）は、昨年4月に大深度地下を基本とした地下構造へと都市計画変更され、同年12月開催の第3回国土開発幹線自動車道建設会議において基本計画に位置づけられた。

同路線の整備は、環状八号線やその周辺部の交通渋滞解消による経済活動の活性化、通り抜け車両の減少による生活道路の安全性向上、環境改善に多大な効果を期待できるものである。また、老朽化する首都高速道路の大規模改修の際の代替経路としても期待されている。

よって、その整備が遅れている東京外かく環状道路について、下記項目について特段の配慮をお願いするものである。

記

1. 国土開発幹線自動車道建設会議を今年度中に開催し、東京外かく環状道路（関越道～東名高速間）を整備計画に位置付け、平成21年度に事業化すること。
2. 東京外かく環状道路（東名高速～首都高速湾岸線間）について、早期に検討、調整を実施し具体化すること。

平成20年11月12日

東京外かく環状道路（関越道～湾岸線）

整備促進連絡会議

東京外かく環状道路（関越道～湾岸線）整備促進連絡会議

平成20年11月12日

| 団体名 | | 代表者 | 連絡会議・委員 | |
|-----------------|-----|--------|---------|-------|
| 東京商工会議所 | 会頭 | 岡村 正 | 常務理事 | 茂木 洋 |
| 八王子商工会議所 | 会頭 | 田辺 隆一郎 | 専務理事 | 河合 和郎 |
| 武蔵野商工会議所 | 会頭 | 稲垣 英夫 | 専務理事 | 尾崎 光二 |
| 青梅商工会議所 | 会頭 | 清水 保男 | 専務理事 | 小池 俊男 |
| 立川商工会議所 | 会頭 | 萬田 貴久 | 専務理事 | 小松 清廣 |
| むさし府中商工会議所 | 会頭 | 伊達 和男 | 専務理事 | 堤 薫 |
| 町田商工会議所 | 会頭 | 平本 勝哉 | 専務理事 | 佐藤 正志 |
| 多摩商工会議所 | 会頭 | 峯岸 松三 | 専務理事 | 松浦 成業 |
| 東京都商工会連合会 | 会長 | 桂 教夫 | 専務理事 | 長谷川 登 |
| 社団法人東京都トラック協会 | 会長 | 星野 良三 | 専務理事 | 綿引 正明 |
| 社団法人東京バス協会 | 会長 | 上條 克之 | 専務理事 | 平林 光政 |
| 社団法人東京乗用旅客自動車協会 | 会長 | 富田 昌孝 | 常務理事 | 尾関 彰一 |
| 東京都商店街連合会 | 会長 | 桑島 俊彦 | 専務理事 | 池田 利明 |
| 財団法人東京観光財団 | 理事長 | 田中 順一郎 | 専務理事 | 奥田 匠 |
| 社団法人東京青年会議所 | 理事長 | 相澤 弥一郎 | 専務理事 | 久保 隆司 |

(15団体)

【事務局】東京商工会議所 地域振興部 朝香・向山

(事務局連絡先:03-3283-7622)